

ひよこ通信

ひよこの会会報 令和3年1月号

発行 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)
〒276-0044 千葉県八千代市萱田町542-81
電話 & Fax 047-450-9144
発行人 会長 吉野真里子、編集 会報編集委員会

◇あけましておめでとうございます、本年もよろしくお願いたします

日本国内で新型コロナウイルスの感染者が確認されてから1年の時が経過しました。春が過ぎ、夏が過ぎ、今冬の真っ只中でウイルスの感染にとって最適な条件が揃っています。

思い起こせば昨年3月、障害者施設「北総育成園」で新型コロナウイルスの集団感染が発生しました。

- 3/27(金) 朝 入所者6人が突然、熱を出した
夕 数日前から発熱で休んでいた職員の新型コロナウイルス陽性が判明
3/28(土) 症状のある入所者、全職員の計92人を検査
夜 その検査結果、57人が陽性

...

6/4(木) 「北総育成園」の新型コロナウイルス感染症終息

犠牲者は出てしまいましたが二次感染者を出すことなく終息を迎えました。

これから何を学ぶか、私たちは、それぞれの立ち位置に置換えて、自分事として活かしたいものです。

◇1/13、にじと風利用者1名が新型コロナウイルス感染判明

[利用者Aさんの状況]

- 1/12(火) にじと風で普通に過ごした後帰宅、夜に嘔吐
1/13(水) 朝 クリニック受診、PCR検査検体採取できず。抗原検査結果プラス(保護者情報)協力医の助言に基づく施設対応、PCR検査協力(検体採取、検体は協力医へ)
1/14(木) 夕 保健所から保護者へ通知。判定は陽性、Aさんのご家族は保健所の指導に基づく
* Aさんの日課：生活介護事業所に通所、その事業所が終わった後施設「にじと風」を利用

[にじと風の対応]

- * 1/14(木)~17(日) 自主閉所。.....1/19(火)まで延長、1/20(水)再開
1/13(水) にじと風利用者の保護者へ連絡、閉所の了解を求める
関係先への連絡(県・市の行政関係、学校関係、その他の機関、44機関)
自主抗原検査に向けて準備
1/15(金) 職員全員の自主抗原検査、結果全員マイナス
保健所からのヒヤリングあり、後濃厚接触者の認定通知。該当者の検体採取
1/16(土) 検体を保健所に提出。
保健所から濃厚接触者の検査結果の通知、判定は全員陰性(指導あり)
1/17(日) 自主閉所を1/19(火)まで延長。保護者及び一部関係先へ連絡
* この度は、「にじと風」関連での感染拡大には至らず何とか食い止めることができました。

◇1月度の収益事業の報告

no.	日時	収益事業	収入(円)	担当
1	10/21(水)~1/8(金)	きょうされん販売(冬) *	105,992	伊藤麻紀/島田玲美/他にじと風職員
2	12/12(土)、9:30-10:00	資源回収	1,250	荒木賢太/大野晃
3	1/9(土)、9:30-10:00	資源回収	2,302	大野晃
4	1/10(日)	市役所フリマ(運営・販売)	0	(新型コロナウイルスの影響を考慮し中止)

* 仕入れ代等の原価分を除いた利益を示す。

これからの予定

- 1/9(土)~1/22(金) きょうされん物品販売(バレンタインチョコ)
1/22は申込み締切日、今年も目新しい商品があります。きっと喜ばれること請合います!
- 2/1(月)~2/15(月) 第12回千葉県障害者グループホーム大会(YouTube配信)
- 2/7(日) 市役所フリマ(八千代 遊・友・バザール)⇒中止
- 2/13(土)、9:30-10:00 資源回収

◇千葉県障害者グループホーム大会のお知らせ

「障害のある方が地域で暮らす家」としてのグループホーム制度創設から、今年は32年目になります。当初グループホームに入居できるのは、就労している知的障害者だけでしたが、現在では障害の種別・支援の軽重を問わず、あらゆる方が利用できるようになりました。

でも病院のように多くのグループホームが存在しているわけではなく、希望さえすれば入居できるわけでもありません。地域の中でグループホームに求められることも、年々大きくなっています。「誰もが、ありのままに、その人らしく暮らす家」となるために、グループホームにできることは何かを、もう一度考えてみる機会になればと思います。

第12回千葉県障害者グループホーム大会

「誰もが、ありのままに地域で暮らす…今、グループホームにできること」

主催：千葉県、千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会

配信方法：YouTube

配信期間：令和3年2月1日(月)～2月15日(月)

* 基調講演：「誰もが、ありのままに、地域で暮らす…支援の原点」

講師 社会福祉法人さざんか会 理事長 宮代隆治氏

グループホームは年々増え、入居者もグループホームの形態も多様化しています。

今年度は新型コロナウイルスへの対応を通し、グループホームの生活の在り方・支援の在り方・日中サービス提供機関との連携の在り方等が問われました。

また千葉県では、強度行動障害の方々を支援してきた袖ヶ浦福祉センターが令和4年度末までに廃止されることが決まりました。入居者の住まいは、民間の入所施設やグループホームなど、一人ひとりの障害特性に応じた多様な住まいをできる限り各地に分散して確保する方針となりました。

「一人一人に見合った暮らし」を支援する際の原点、グループホームの実践を通して見えたこと、グループホームの現状と課題、今後の在り方等を、グループホームの歴史を踏まえお話していただきます。

* 分科会①：シンポジウム「地域と繋がるグループホームを創るために」

新型コロナウイルス感染症防止対策、多様な障害特性を抱えた方への支援など、GHのみで入居者の暮らしを支えることは困難になっています。安心して豊かな暮らしを送るための原点と方向性について、シンポジストによるお話があります。

②：グループホーム従事者のメンタルケアwithコロナ

入居者が安心した生活を送るためには、支援者自身のメンタルケアが必要です。コロナ禍においてGH従事者が受けるストレスとそのケアについて学びます。

③：多様生活探訪～一つじゃない、グループホームでの様々な暮らし方～

GHは、様々な障害のある方の住まいです。重い障害を持ちつつ車いす生活を送っている方、行動に重い障害をお持ちの方、GHのサテライトに住んでいる方に、GHへの想い・将来に向けての夢・希望等、取材を通して聞いてみました。

④：障害者グループホームとは？～サービス内容について知ろう～

障害者GHとはどんなところだろう？ 名前は聞いたことあるが詳しいことはわからないなど、GHを一から知りたい方へ、生活の様子やお金のことなど基本的なことをGH等支援ワーカーの方に説明していただきます。



問合せ先 043-223-2308(千葉県障害福祉事業課 担当：遠藤)

参加申込 043-222-4133(Fax)、chiba.ghw@gmail.com(メール)

◇編集後記

1/13(水)、施設「にじと風」の利用者1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。即、想定している措置がとられました。感染拡大に繋がらないことを願っています。

新型コロナウイルス禍の終息に向けて、私たちができること、やらなければならないことは何か？、今一度洗い直して、一つずつ、地道に、根気よく対峙して、明るい光を見ましょう！ (吉野康生記)